

お知らせ・会務報告

東京例会開催のお知らせ

2015年度第1回例会を下記の通り開催致します。奮ってご参加ください。

日時 3月7日(土曜日) 13:00～16:30
場所 国立科学博物館附属自然教育園講義室
 (正門を入れて右手の建物)

〔交通〕JR山手線「目黒」駅東口より目黒
 通り徒歩7分。または、東京メトロ南北
 線/都営三田線「白金台」駅出口1より目
 黒通り徒歩4分。

当日の企画

1 談話会：10:00～13:00

自由な歓談の時間として会場を開放いたします。
 ミニ同定会や蘇虫会など、内容には特に制約が
 ありませんので、お気軽にご参加ください。

2 話題提供：13:00～15:00

(1) 林 靖彦：「芝田グループ半世紀の軌跡」

芝田グループ(大阪甲虫同好会)の芝田太一さんが亡くなってはや8年近くがたち、演者を含めメン
 バーの最若手も既に50歳を超える、オールド“ムシ屋”の集団になっています。この集団は芝田太一
 という強烈な個性を受け入れた甲虫屋の集団です。非常に排他的で秘密に満ちたグループと思われてい
 たようですが、芝田さんの甲虫研究に対する考え方やメンバーの活動など、甲虫の採集、コレクション
 の集積、研究者の育成、分類学への考え方などに対する彼の考え方など、この集団のメンバーに対
 する理解を高めていただくため、演者なりの見方で紹介していただきます。

(2) 棚橋薫彦：「クワガタムシ科の共生微生物」

クワガタムシの幼虫は木材(朽木)を食べて育ちます。木材は消化の困難な食物であり、木材食べる
 ほとんど全ての昆虫は、微生物の助けを借りて木材を消化吸収しています。もちろんクワガタムシの
 幼虫も例外ではありません。本講演では、クワガタムシと共生する微生物と、その母子間の受け渡し
 について紹介していただきます。

(3) 渡邊花奈：「日本産ルリクワガタ属と共生酵母の共種分化過程および共生酵母の機能」

ルリクワガタ属は冷温帯林に依存するクワガタムシであり、日本には10種が分布しています。種に
 よって分布標高や幼虫の穿孔する腐朽材のタイプが異なるため、これらに対応した共生酵母を保持し
 ている可能性が考えられます。本講演では、これらの共種分化過程や共生酵母の性質、ルリクワガ
 タ属に与える影響について紹介していただきます。

3 一人一話：15:00～16:30



(東京例会運営幹事 高橋和弘 〒259-1217 平塚市長持 239-11 E-mail: kazu5@mg.scn-net.ne.jp)